

②室内では・・・柱や壁のクロス紙に触る

お家の中では木製のドアなら木の部分を、金属製のドアの場合は、横の壁もしくは木製の柱に「手のひら全体」で触れた後にドアノブを触るとビリビリしませんよ！！

アスファルト・コンクリート・木材や壁等、金属でない部分は金属よりも電気を通しにくいので、手のひら全体で触ると、体にたまった静電気がゆっくり放電されるので痛く感じられなく、あの嫌なビリビリも起こりません。

着用している服の繊維により静電気が発生しやすい物、発生し難い物があり、右の図の水色の部分の繊維の洋服を選ぶのも静電気予防となります。又湿度が低いほど発生しやすくなるので室内では加湿器等で湿度 60%以上になるようにすると良いです。湿度を上げるのはインフルエンザ予防にも効果的です。

衣類素材の帯電の性質

毛 皮 スル ン	レ 綿 ヨ ン	麻 皮 ア ビ セ ニ テ ロ ン	ポ リ ク リ リ 化 ス ル レ テ ル	ポ リ ウ レ タ ン ル	塩 化 エ ピ レ チ ン ル
+					-
←+が強くなる 弱い -が強くなる→					

DPC（入院医療費の包括評価）のご案内

南多摩病院 事務部 医事課

当院は、厚生労働省の指定を受け、平成 26 年 4 月 1 日から『DPC対象病院』となりました。これに伴って、入院医療費の計算方法が従来の「出来高方式」から『包括評価方法（DPC）』と呼ばれる新しい計算方法へと変わりましたので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

従来の「出来高方式」では診療行為ごとの医療費を積み上げて入院医療費を計算していましたが、DPCでは、患者様の傷病名と治療行為に応じて定められた「1日当たりの定額医療費」からなる包括評価部分と、出来高評価部分を合わせて医療費を計算します。

入院医療費の計算方法がDPCとなりますが、患者様が中心の医療であることには変わりません。当院では、今後『住民の方々に良質かつ安全な医療を提供する病院』として、患者様の権利を尊重しつつ、より安全で信頼いただける医療をめざし努めてまいります。DPCについてご不明な点につきましては、本館 1 階入院受付までお問い合わせ下さい。



～編集後記～



医療法人社団永生会
理事長 安藤 高朗

早足に桜の季節も過ぎ、新緑の青葉が繋がる季節を迎えました。今回も南多摩病院広報誌作成委員が中心となり第6号を作成することができました。

「南十字星」創刊から早いもので1年が経ちましたが、今年度も皆様に少しでもお役に立てるような情報を発信していけたらと思っております。

梅雨の足音もすぐそこまで来ていますが気持ちは晴れやかな日々を過ごされるようお祈りしております。今回は、夏本番の8月に発行予定です。（T.O）



南 十 字 星

発行・編集 / 南多摩病院 広報誌作成委員会 042-663-0111(代表)

〒193-0832 東京都八王子市散田町3-10-1

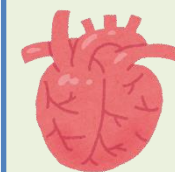
<http://www.minamitama.jp/>

南多摩病院

◆ 南多摩病院のロゴマークは、赤十字と共に、職員のすべてに対するプラス1精神を表しています ◆

フットワークとチームワークで治療にあたる南多摩病院の胸部心臓血管外科

毎号、南多摩病院の各診療科についてご案内させていただいておりますが、今回は1月から開設し、フットワークとチームワークで治療にあっている「胸部心臓血管外科」の紹介です。また、毎号皆様のお役に立つ情報を発信させていただいておりますが、今回は、縁の下の力持ちである「臨床工学技士」と医事課から情報を提供させていただきます。どうぞ最後までご一読ください。



胸部心臓血管外科 Thoracic and Cardiovascular Surgery

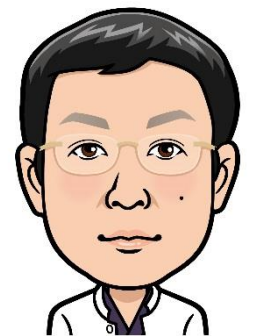
統括外科部長 兼 胸部心臓血管外科部長

くつかたのりよし
朽方 規喜

ごあいさつ

皆さん、こんにちは！今年 1 月より南多摩病院に着任しました朽方（くつかた）と申します。出身は千葉県です。

私の簡単な略歴をお話します。心臓の専門病院榊原記念病院で研修を受けた後、ドイツにあるクリニックムエスリングンという病院へ留学して血管外科のトレーニングを受けています。帰国してからは、病院長の益子邦洋先生に師事し、日本医科大学千葉北総病院でドクターヘリのフライトドクター、そして佐賀大学医学部非常災害医療学講座の教授を経て現在に至っております。どうか宜しくお願い申し上げます。



胸部心臓血管外科について

心臓・血管・肺などの大きな手術や専門的な治療を行う“なにやら恐ろしいところ”と思われてしまっは残念です。この新たに開設された胸部心臓血管外科は、地域の多くの皆さまのいつも近い位置に存在し、安心して選んで頂きたく思っています。ごく軽症の患者さまから、大変重症な患者さままで、幅広いニーズに対して医療サービスを実践するために日々準備しています。どうぞ気軽にお声かけください。

診療の対象

専門分野は

- ・交通事故や労災事故などで受傷した大怪我 <心損傷・肺損傷・胸郭損傷など>
- ・急な手や足の血管の詰まり <急性動脈閉塞症・深部静脈血栓症など>
- ・足が冷たくて、長く歩くと痛くなる <下肢閉塞性動脈硬化症など>
- ・血液透析のシャント作成手術 <作成困難な症例も対応いたします>
- ・足の静脈がモコモコ浮き出してしまう困る <下肢静脈瘤など>
- ・肺がしぼんで急に息苦しくなる <自然気胸など>

などですが、なにも大きな怪我や病気にかぎりません。ぶつけてしまった、転んで怪我をしてしまったというような小さな怪我でも対応致します。心臓血管外科専門医の他に、救急科専門医や日本体育協会スポーツドクターの資格も持っていますので、ご安心ください。

最後に

今までの経験や科学的根拠に基づいて、適切な治療方法を迅速に選択し、実践して参ります。当院の多くの医療スタッフと共に、フットワークとチームワークで治療にあたりますので、どうか宜しくお願い致します。



このコーナーでは、皆様のお役に立つ情報、また南多摩病院の取組みをお知らせします。

《ビリビリ！！》痛み感じる恐怖の静電気！（；@_@×）有効な対処法は？

南多摩病院 医療技術部 臨床工学科

臨床工学技士とは

皆さんこんにちは、始めに臨床工学技士についてお話致します。皆さんに「病院の中で働く人は？」とお尋ねすると、まずは医師と看護師、次に臨床検査技師、レントゲン技師（診療放射線技師）、リハビリの技士（作業療法士、理学療法士など）を思い浮かべることでしょう。実は病院の中には 様々な職種の医療従事者が働いており、私たち『臨床工学技士（昭和62年制定された国家資格）』も医療従事者の一員として日々の業務に励んでいます。

では、臨床工学技士の仕事とは何でしょう。臨床工学技士の仕事のイメージは、まさに「縁の下の力持ち」です。あまり目立ちませんが現代の医療にとってはとても重要な仕事をしています。臨床工学技士の業務は、病院で日常的に使われている『医療機器』が患者様に対して安全に使用されるように、機器の「保守点検」と医療従事者への「教育」を行うことです。さらに医療機器の中で『生命維持管理装置』と呼ばれる、人の呼吸、循環、代謝などの生命維持に直接関わる機能を代行したり、補助したりする特別な装置に関して、臨床工学技士は医師に代わって『操作』をおこないます。

南多摩病院では人工透析センター・心臓カテーテル検査室・手術室・機器管理室で勤務しております。現代の医療には高度な医療機器が必要不可欠です。今後、益々増大する医療機器の安全確保と有効性維持の担い手として、医学と工学の両方の知識を合わせ持つ臨床工学技士が、今日も医療現場で活躍しています。

本題になります。

春真っ盛りですが寒い時期に、ドアを開けようとして、指先がビリビリ！！・・・「イタタタ」！！
湿度が少ない時期静電気のせいで痛い思いをしたことはありませんか？
本当に嫌ですよね。そこで、このビリビリを避ける方法です・・・



1 外出時・・・壁や地面に触るのが効果的

簡単で一番効果のある静電気除去方法があります。ドアを開ける前にアスファルトやコンクリートの地面、家の壁に「手のひら全体」で触れた後にドアノブにさわるとビリビリしないのです！！



次に玄関のドアを開ける時や車に乗るときに使える方法です。車から降りる時は、シートに座っている状態の時から手で車の金属部に触り、その手を離さずに車から降りるとビリビリしませんよ！！
(次のページにつづきます)